

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

コミュニティの希薄化が叫ばれる昨今、住生活においても、空き家や買い物難民などの問題が生じてきている。快適な住環境形成、そしてその維持のために、世代や暮らし方が異なる人達が集まって関わり合いが持てるには、どのようなことが求められるのかを、住構造・住環境の工夫によるアプローチから考えさせたいと思ったため。また、暮らし方は、ライフステージによって変遷していく。住まいと周りの環境を学習することが、家族分野、福祉分野にもつながっていき、住分野の学習を単一の分野だけにとどまらず、家庭科の内容としての包括的な意味合いにしていきたいと思ったため。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A中心となる活動, B授業の狙いと特徴, C学習の流れ(指導計画))

A 中心となる活動

- ・団地の構造などについて事前学習、地域社会におけるコミュニティの必要性についての学習。
- ・標準的な団地を用意し、多世代間の交流が図れる工夫を凝らした団地の改修案を作成(グループ課題)
- ・改修案の住居(または施設)を1種取り上げ、間取り図のアイデアを作成する。(個人課題)
- ・作成したプランから、世代間交流の必要性と、ライフステージに対応した住まい方について、考察させる。

B 授業の狙いと特徴

本授業では、人が多く住む団地をとりあげ、特に「多世代間交流」を意識した改修案を考えさせることによって、家族分野・高齢者分野との連関を図り、コミュニティ形成の意義を再確認することをねらいとする。座学による学習と、部屋の設計による、住まいに関する知識・技能を充実させるとともに、多世代が住まう団地のプランニングを通じて、ライフステージごとの住要求や、暮らし方要求について深めることがねらいである。

C 学習の流れ(指導計画)

- 1) 住まいに関する基礎知識についての学習
- 2) 集合住宅としての住まい方の特徴についての学習
- 3) グループによる、団地改修計画について、考えさせる。
- 4) 団地改修案の詳細として、個人による間取り作成
- 5) グループによる、団地改修プランと、多世代間交流についての工夫点の発表

その他特記事項がありましたらお書きください

助成金の使途については、グループ活動時の資料(書籍)費用、また、改修案の講評を頂く、講師の方への謝礼を考えている。

※複数枚になってもかまいません。

※他に添付資料がありましたらお付けください。